

学校だより
はす

ぬま

ちゅう

かがみ

蓮沼中鏡

平成30年度 第5号

平成30年 6月29日発行

大田区立蓮沼中学校

校長 大原章博

修学旅行

— 3学年 6/1~3 —

中学校生活の中で最も思い出に残る行事の一つである修学旅行を無事、終えることができました。例年の修学旅行のコースは、1日目・奈良、2日目・京都（奈良）1日班行動、3日目・京都タクシー班行動というものなのですが、今年度は次のような行程でした。

- 1日目…新幹線で京都駅下車、班行動で京都の宿舎に集まる。夜は、漆器の絵付け体験。
- 2日目…京都の宿舎からタクシー班行動、京都駅で近鉄戦に乗って奈良へ移動、東大寺大仏殿を見学して興福寺に集合。興福寺では、宝物館を本校だけで貸切り、ガイドさんの説明で見学して、奈良の宿舎に入る。
- 3日目…バスによる全体行動で法隆寺と薬師寺を見学し、新大阪駅前のホテルでバイキングの昼食。新大阪駅から新幹線に乗車して東京に帰る。

運動会を終えて、ほっとする間もなく、3年生は修学旅行ということになりました。事前学習はしたものの実際に見る世界遺産は、どのように感じたことでしょうか。きっと、日本の伝統・文化を身近に感じることができ、日本人の偉大さや知恵、その歴史のもつ意味について学んでくれたことでしょう。

1日目は、失敗した班がありました。予定した時間通りに行動できなかつたり、途中で我慢できずペットボトルの飲料を持ち帰ったりしてしまいました。社会では「これくらい、いいだろう」とか「自分一人くらいかまわないだろう」という考えは通用しないのです。今回の失敗をこれからの生活に生かしてほしいと思います。教員側としても、当日に生徒を指導するという事は、したくないことです。自分たちで決めた約束事です。いつでもどこでも、「あたりまえのことをあたりまえに」の精神を貫いてほしいと思っています。

2日目は、時間通りにタクシー行動に出発しました。それぞれの班の訪れたいところを運転士さんに伝え、ガイドをしてもらいながら見学をしました。昼食を班ごとにとって、京都駅に送ってもらい、近鉄線で奈良へと向かい、大仏を拝観して興福寺に集合しました。1日目の反省を生かして、どの班も時間通りに集合することができました。そして、興福寺宝物館の中を奈良公園ガイドさんの案内で、丁寧に見学して、仏教美術の素晴らしさを体験しました。この見学は、とても意義のある大きなもので、心に残ったことでしょう。

3日目は、学級ごとにバスに乗り、世界最古の木造建築の法隆寺と薬師寺の見学でした。この日は、ラッキーでした。薬師寺のお坊さんが、聞いている生徒の態度や反応が良くて、長く話をしてくれました。法隆寺も他の修学旅行の生徒も少なく、ゆったりと見学することができました。

今回の修学旅行スローガン「蓮中生としての自覚をもち、最高の思い出を作ろう！」の通り、最高の思い出にすることができたでしょうか。『蓮中生としての自覚』をもって行動できたのでしょうか。

蓮 中 生 四 訓

は	す	ぬ	ま
判断正しく	素直な心で	温もりあふれる	まっすぐな生徒
いろいろな場面で正しい判断ができたか	現地で素直な心で学ぶことができたか	人々の温かさ・優しさを知り、温もりを感じたか	生徒同士、お互いの良さをまっすぐ認め合えたか



学校公開のお知らせ

7月7日(土)は学校公開です。大勢の方のご来校をお待ちしています。また、アンケートにご協力お願いします。午後は、保護者会があります。